

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年03月09日

計画の名称	折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり（防災・安全）							重点配分対象の該当	○				
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）												
交付対象	北九州市												
計画の目標	JR折尾駅周辺の鉄道連続立体交差事業、街路事業、土地区画整理事業等を総合的に実施することにより、交通結節機能を活かした、安全・安心なまちづくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,300	A	1,300	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	・本市地域防災計画に位置づけられている、折尾駅南側における特定消防区域（火災危険度の高い区域）の指定を解除し、安全・安心なまちづくりを推進する。 ・折尾駅周辺地区における、特定消防区域（火災危険度の高い区域）の面積率（H27末現在、市地域防災計画で位置づけられている面積を100%として算出）	100%	%	38%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

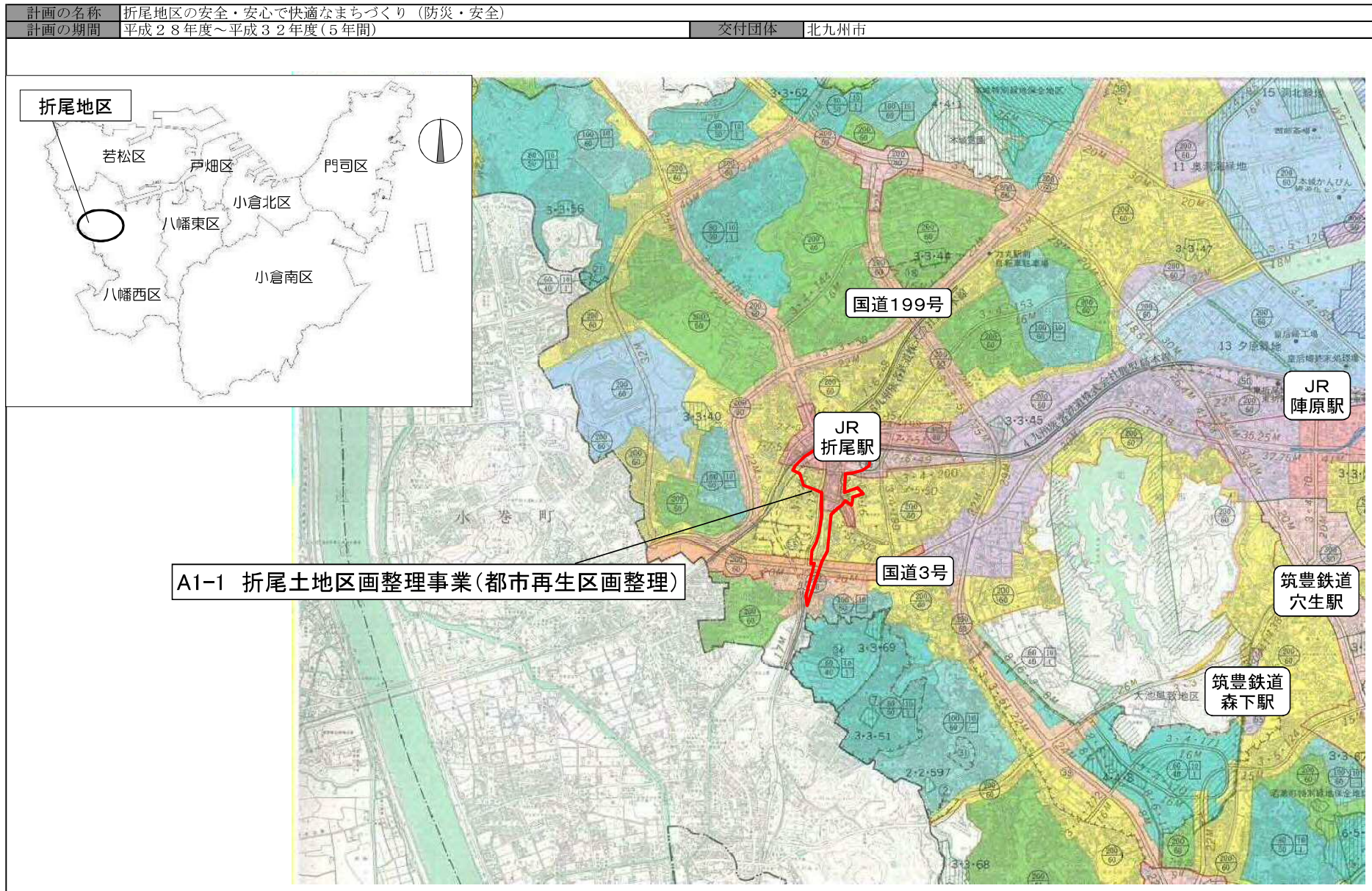
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	H32			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	北九州市	直接	北九州市	—	—	折尾土地区画整理事業	都市再生区画整理 16.9 ha	北九州市	■	■	■	■	■	1,300		—
											小計						1,300		
											合計						1,300		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31 (R1)	R2
配分額 (a)	93	224	68	60	145
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	93	224	68	60	145
前年度からの繰越額 (d)	0	42	92	36	43
支払済額 (e)	51	174	123	53	105
翌年度繰越額 (f)	42	92	37	43	83
うち未契約繰越額(g)	12	57	31	43	26
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	12.9	21.51	19.13	44.62	13.83
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	仮移転先の選定に不測の日数を要した為。	仮移転先の選定に不測の日数を要した為。	仮移転先の選定に不測の日数を要した為。	関係者との調整等に不測の日数を要したため。	関係者との調整等に不測の日数を要したため。

# 社会資本総合整備計画 参考図面



# 社会資本整備総合交付金(防災・安全)チェックシート

計画の名称: 折尾地区の安全・安心で快適なまちづくり(防災・安全) 事業主体名: 北九州市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との適合等	
1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) まちづくりに向けた機運がある。	○
2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○